

各段階での主な視点 施設整備の流れ 地域連携懇談会 (予定)



新たな官庁施設の整備にあたっては、高齢者、障害者等を含むすべての施設利用者が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる施設を目指し、法令において求められる内容を満たすのみではなく、事業の特性に応じ、地域住民を含めた施設利用者等から意見聴取を行うユニバーサルデザインレビュー(UDレビュー)を実施。

UDレビューとは

○ユニバーサルデザインの視点に立ったニーズの把握、解決策の検討、評価、フィードバックといった一連の作業を施設整備の各段階において繰り返し行うことで、常に前の段階よりも高い水準を達成しようとするスパイラルアップの取組みのこと

UDレビューによるスパイラルアップのイメージ

【設計段階】

設計図、模型等を用いて確認



【施工段階】

現地での検証、実物大模型等による確認



UDレビューの実施方法

施設の特性に応じて、次の事項を検討し、利用者の意見を聴取

○どの段階で実施するか

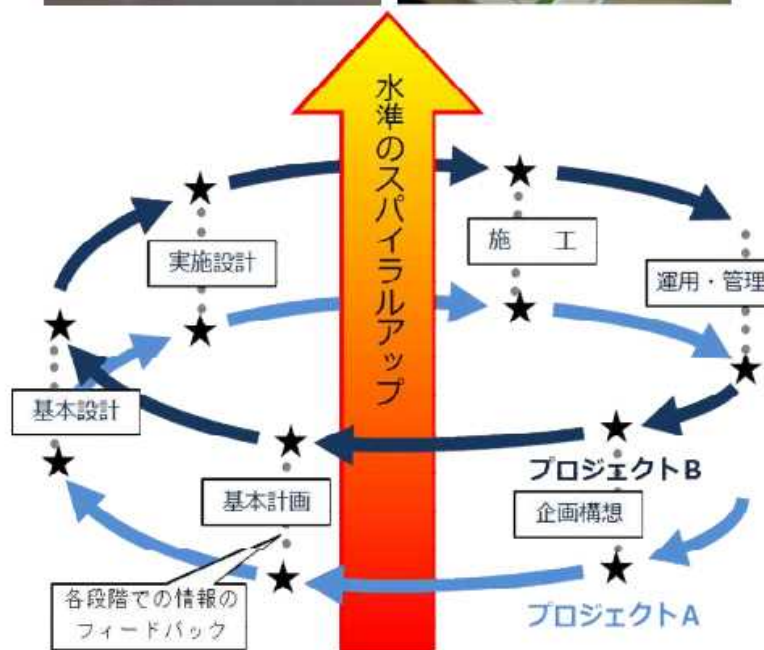
設計段階、施工段階、運営・管理段階

○どなたに参加いただくか

入居官署のほか、施設利用者、専門家、地方公共団体等

○どのような方法で実施するか

模型の活用、現地での検証等



【運用・管理段階】

完成施設の検証
→運用管理の参考、情報蓄積



UD レビュー step 1

コンセプト、ニーズ把握、評価プロセス設定



企画構想

基本方針

- (1) 官庁施設は、高齢者、障害者等を含むすべての施設利用者がサービス等を等しく享受できるよう、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できるものとする。
- (2) 官庁施設は、施設固有の条件及び特性に応じて柔軟に対応し、施設利用者のニーズをきめ細やかに考慮したものとする。
- (3) 地域との連携を図った施設の整備により、連続により、連続的な環境の整備及びコミュニティの形成に貢献する。

UD レビュー step 2

ゾーン分け、動線計画、レベル計画、サイン環境等の目標の設定



基本計画

第2回 庁舎計画内容について (UD・景観・地域等含む)

官庁官庁におけるユニバーサルデザインの実現を目指した取り組みのイメージ 国土交通省



官庁官庁におけるユニバーサルデザインの実現を目指した取り組み 国土交通省



Step2 第1回地域連携懇談会

- ・ユニバーサルデザインの実現を目指した取り組みイメージ
- ・ユニバーサルデザイン(UD)レビューの流れ
- ・UDレビューの意見や対応事例
- ・移動空間・便所・情報設備等の取り組み事例

UD レビュー step 3

平面計画、レベル計画、各部寸法、単位空間の面積確保、サイン計画等の確認



基本設計

第3回

基本設計におけるまとめ

Step3の詳細については、基本設計の作業工程上からstep4で説明とします。今回の説明は「平面計画」、「設計検討対象」等を対象とします。

Step3で説明

▽ 移動空間

〈建物外部〉

- ①敷地出入口
- ②歩行者専用通路
- ③自転車路・駐輪場
- ④車路
- ⑤駐車場
- ⑥車寄せ

●配置計画図

▽ 移動空間

〈建物内部〉

- ①出入口
- ②エントランス
- ③受付・案内設備
- ④廊下
- ⑤階段
- ⑥エレベーター
- ⑦各室出入口
- ⑧食堂・売店

●1階平面図

Step4で説明

▽ 行為空間

- ①待合
- ②窓口
- ③執務室・会議室
- ④トイレ
 - 1 共通事項
 - 2 多機能・機能分散
 - 3 一般
 - 4 洗面カウンター
- ⑤授乳室等
- ⑥休憩
- ⑦湯沸室
- ⑧エントランスコリドー

▽ 情報

- ①視覚情報
- ②触知情報
- ③音声情報
- ④人的対応

▽ 環境

- ①光環境
- ②音環境
- ③熱環境
- ④空気室環境

▽ 安全

- ①避難
- ②防犯